

# 国消国産

「国産」、「地元」の農産物を食べよう！

「国産」の農畜産物は、「おいしい」「安全・安心」「新鮮」はもちろんですが、「国産」を食べることで、「家族に」「日本に」「世界に」「農業に」たくさんいいことがあります。日本の農業を応援し、未来の子供たちに「食」をつなぐために、「国産」をもっと食べて、もっといいこと、広げていきませんか？

## 国消国産とは？

「国消国産」と書いて「こくしょうこくさん」と読みます。“国民”（こくみん）が必要（ひつよう）とし、“消費”（しょうひ）する食料（しょくりょう）は、できるだけ“その国”で“生産”するという考え方です。

### ◎「地産地消」とは違うの？

「地産地消（ちさんちしょう）」とは、“地産地消とは、国内の地域で生産された農林水産物（食用に供されるものに限る。）を、その生産された地域内において消費する取組です”。\*1

「地産地消」「国消国産」をすすめることで、SDGsの実現に貢献することが出来ます。例えば身近な地域にファーマーズマーケットがあれば、新鮮な地元の農畜産物を食べられるだけでなく、食材を長距離輸送する必要がないためCO2の削減に繋がり、ひいては環境への負担を減らすことができます。

### 家族

に、いいこと



- ・おいしくて新鮮で安全・安心な食事を実現
- ・未来の子どもたちに「食」をつなぐ

### 日本

に、いいこと



- ・食料自給率アップ
- ・田んぼのダム機能などで防災
- ・和食文化や伝統芸能を継承

「国産」を食べると、いいこと、いっぱい。

### 世界

に、いいこと



- ・輸入によるCO2排出が減る
- ・SDGsに貢献
- ・途上国の食糧を奪わない

### 農業

に、いいこと



- ・日本の生産者を食べて応援
- ・地域の活性化に貢献
- ・多様な生き物を育む

農業に必要な資材の価格が上がっているのに  
「国産」農畜産物の価格は、あまり変わっていない！？

いいことがいっぱいの「国産」ですが、農業の現場では、肥料、家畜のエサ、燃料や流通コストが上り続けています。一方、それらの増えた分が、国産農畜産物の価格に適正に反映出来ていません。このままだと、日本で農業を続けていくことが出来なくなってしまうかもしれません。今、私たちにできることは、「国産」を食べて応援することではないでしょうか？

皆さんも「国産」、「地元」の農産物を食べて日本の農業を応援しませんか？

引用・参考：\*1「地産地消（地域の農林水産物の利用）の推進：農林水産省」[https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/chisan\\_chisyo/#1\\_tisan](https://www.maff.go.jp/j/nousin/inobe/chisan_chisyo/#1_tisan)

「国消国産」| JA グループ」<https://agri.ja-group.jp/foodsecurity/>

「国消国産」から考える「食」の未来 | JA グループ千葉」<https://www.ja-chiba.or.jp/news/detail/id=655>